

# 参 考 資 料

I	徳島県公共事業評価委員会開催状況 .....	1
II	対象事業一覧表	
	平成22年度 対象事業	
	・ 農林水産部（再評価） .....	2
	地盤沈下対策事業	
	中山間地域総合農地防災事業	
	林道開設事業	
	広域漁港整備事業	
	林道開設事業（市町村事業）	
	・ 県土整備部（再評価） .....	6
	道路改築事業	
	総合流域防災事業	
	地すべり対策事業	

## I 徳島県公共事業評価委員会開催状況（平成22年度）

○日時：平成22年11月5日（金）9:30～12:30

出席委員：6名（村上台長，上月委員，近藤委員，佐田久委員，眞山委員，山中委員）

- ・対象事業の概要説明等
- ・会長の選出
- ・現地調査（農林水産部・しよほうじがわ県土整備部）
  - 総合流域防災事業：おおあさちく正法寺川（藍住町）
  - 地盤沈下対策事業：大麻地区（鳴門市）

○日時：平成22年11月8日（月）10:00～14:20

出席委員：6名（村上台長，井関委員，上月委員，近藤委員，佐田久委員，山中委員）

- ・農林水産部所管再評価対象事業：8件の審議
- ・県土整備部所管再評価対象事業：5件の審議

再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）		事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針（案）
				全体事業費 百万円	受益面積 ha						
1	地盤沈下対策事業	おおさき 大麻	鳴門市	2,725	444.0	H 3	20	⑥	84	本地区は、地盤沈下起因した排水能力の低下による湛水被害を低減するため、排水機能を回復させる対策工事として、排水機場の設置及び排水路の改修を行っている。残工事については地元調整を図りながら早期の実施を目指し、農業経営の安定を図る。 平成27年度完了予定	継続
2	中山間地域総合農業	かみ 加茂	東みよし町	282	83.0	H 8	15	⑥	98	排水路の未整備に伴い降雨の度に農地・農業用施設の被害にとどまらず流域の受益者の財産等にも影響がでている。また、老朽化した用水路の維持管理に支障をきたしている事から、本事業を実施する事により、これらの被害を未然に防止し農業経営の安定を図る事が重要となっている。今年度工事完了し来年度事後補償を行い事業完了する予定である。 平成23年度完了予定	継続

評価対象の区分

- ① 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ② 事業採択後5～9年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③ 事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ⑤ その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥ 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価対象事業一覧表（森林整備・県事業）

番号	事業名	路線名	市町村名	基本総元 域面積・延長等		事業採択	経過 年数	区分	工事進捗 率(%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応 方針 (案)
				全体事業費 百万円	h a						
3	林道開設事業	ひろおかいがたにせん 広岡池ヶ谷線	海陽町	1,878	563	H8	15	⑤	64	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められており、林道の担う役割は増大している。また、旧安塩町北河内地区の災害時の緊急時には迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5～9年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価対象事業一覧表（水産基盤整備・県事業）

番号	事業名	漁港名等	箇所名	基本総元 (全体事業費・工種等)		事業 採択	経過 年数	区分	事業費進 捗率(%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応 方針 (案)
				全体事業費 百万円	工種・数量等						
4	広域漁港整備事業	瀬戸漁港	北泊地区 堂浦地区	460	防波堤改良 220m -3m岸壁 106m -2m物揚場改良 154m 浮体式係船 岸 25m 道路 26m	H13	10	③	87	堂浦地区では、平成19年から卸売業者と連携し「一本釣り 鳴門鯛」を「うず華鯛」と命名し、新規販路の開拓に取り組んでいる。現在、漁獲物の陸揚げや一時的な蓄養施設として利用している桟橋は老朽化が著しい上、干潮時には係留する漁船との高低差が大きく、荷受け作業に支障を来している。また、県道へ接続する臨港道路が無いことから、出漁準備や出荷作業にも不便を強いられてい	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5～9年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択前の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価対象事業一覧表（森林整備・市町村事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本縮元（全体事業・利用区 域面積・延長等）			事業 採択	経過 年数	区分	工事進捗 率(%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応 方針 (案)
				全体事業費 百万円	利用区 ha	延長 m						
5	林道開設事業	友内線 <small>ともうちせん</small>	つるぎ 町	777	229	4,080	H8	15	⑥	60	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性能林業機械の導入、適正な施業や管理、効率的な林業経営を進めていくうえで、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続
6	林道開設事業	神明杉地線 <small>しんみんさぎきせん</small>	上勝町	750	170	4,120	H13	10	③	85	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足が重なり、手入れの行き届かない森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性能林業機械を導入し、適正な施業や管理を行う上で林道の担う役割は大きい。また、効率的な林業経営を進める上で路網整備が急がれ、地元からの要望も非常に強い。	継続
7	林道開設事業	倉羅徑平線 <small>くらろけいへいせん</small>	吉野川 市	1,001	194	5,635	H13	10	③	79	当路線は、国道と県道を接続する4.0mの森林管理道であり、本路線の完成により高格的循環林道が敷設される事になり森林施業の共同化や高性能機械の導入が図られ効率的作業システムの構築を可能とする。しかし近年、林業・木材産業の不況等から人口の減少、高齢化が一段と進み管理の行き届かない森林が増加する等、森林の多様な機能の発揮するうえでも、林道の整備が強く求められる。	継続
8	林道開設事業	川俣大戸線 <small>かわまておほやせん</small>	那賀町	472	141	2,258	H13	10	③	72	地球温暖化に伴う対策が森林の持つ公益的機能に大きく期待されるなか、当地域は森林資源の充実に対し、路網整備の後の状況による撤出間伐などの資源活用に支障をきたしている。こうした状況の向上も高性能林業機械の導入による撤出経費の低減と生産性の向上を図るため、路網整備を急ぐことが地元から強く求められている。	継続

評価対象事項の区分

- ① 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ② 事業採択後5～9年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③ 事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤ その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥ 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

平成22年度再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元		事業採択年度	経過年数	区分	進捗率(%)		対応方針
					全体事業費C(百万円)等	事業費				用地		
1	道路改築事業	徳島県	一般国道439号 （磐城バイパス）	三好市	H13	L=1,800m, C=3,700百万円	10	③	60	96	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等では人家運担地を通過するなかで幅員狭小、線形不良区間が連続し、交通の隘路となっている。当該事業により安全で円滑な交通が確保される。平成27年度の完了を目指している。	継続
2	道路改築事業	徳島県	徳島環状線	徳島市～ 藍住町	H14	L=4,600m, C=52,000百万円	9	②	21	16	当路線は徳島外環状道路の西側の一部を形成し、徳島市内中心部及び周辺地域の機能的な渋滞緩和の中心的役割を担う重要な路線である。これまでに県道徳島鴨島線から旧飯尾川間300mの区間の側道部を暫定供用している。平成22年度の完了を目指している。	継続
3	総合流域防災事業	徳島県	正法寺川	藍住町	H8	L=3,000m 河道掘削 C=1,370百万円	15	⑥	78	-	これまで約37,300m3の浚渫(全体約41,150m3)に対して約91%及び直接浄化施設1基が完成している。また、藍住町の下水道もH21.4に供用を開始している。しかしながら、流域内人口の増加や下水道事業の遅れなどもあり、河川の水質に顕著な改善は見られない。このため、下水道事業者、地元住民などとともに流域一体となった水質改善対策を推進していく必要があるため、河川事業者としても引き続き浚渫工事及びもろ1基の直接浄化施設の整備を進め、河川の水質改善を図る。平成27年度の完了を目指している。	継続
4	総合流域防災事業	徳島県	阿南川	阿南市	H2	L=1,180m 河道拡幅 C=1,150百万円	21	⑥	57	72	これまでに下流から国道橋までの約600mの整備が概成しており、流域内には商業地、人家を抱えており、平成16年23号台風において浸水被害が発生し、事業完成に向けて地元改修要望があり、今後事業完了に向けて上流未改修区間の浸水被害軽減のため、整備促進を図る。また下流部で紀伊水道高潮対策事業により非水機場が完了している。非水機場と一体となって治水効果を奏するため改修を進める必要がある。平成28年度の完了を目指している。	継続
5	地すべり対策事業	徳島県	美馬川	美馬市	H13	横ボーリング等 C=600百万円	10	③	76	70	本箇所は、古くから地すべり活動を起こし、崩壊や滑落のため、耕地、宅地、人家、公共施設等に被害が発生している。このため地すべり調査を行い、機構を解体し、地すべり防止工事を施工して、国土の保全と民心の安定を図る。平成25年度完了を目指している。	継続

評価対象事項の①～⑦の区分

- ① 事業採択後5年目で未着工の事業箇所
- ② 事業採択後5年～9年目で継続中の事業箇所
- ③ 事業採択後10年目で継続中の事業箇所
- ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間で経過している事業箇所
- ⑤ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- ⑥ 再評価後5年間を経過した事業
- ⑦ 事後評価対象